

世界遺産登録推進シンポジウム 2021
立山砂防シンポジウム 開催概要

—日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

1 開催趣旨

富山県は、関係機関や民間団体等と連携協力しながら、日本イコモス国内委員会によって「日本の20世紀遺産20選」に選出された富山県が世界に誇る防災遺産である、立山砂防の歴史的砂防施設群の世界文化遺産登録を目指しています。

本シンポジウムでは、世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等をとおして、立山砂防の価値と魅力を広く発信しました。

2 概要

- (1) 日時 令和3年10月30日(土) 13:30~17:00
- (2) 会場 富山国際会議場メインホール(富山市大手町1-2)
- (3) 参加者 約500名(会場参加200名、オンライン参加300名)
- (4) プログラム

13:30~	■挨拶 開会挨拶 新田 八朗 富山県知事 来賓挨拶 国土交通省水管理・国土保全局砂防部長 三上 幸三 氏
13:45~15:00	■基調講演 「世界遺産を活かしたまちづくり」 京都府立大学教授 宗田 好史 氏
15:00~15:15	■報告 「富山県の立山砂防の世界文化遺産登録への取り組み」 富山県知事 新田 八朗
15:30~	■パネルディスカッション コーディネーター 西村 幸夫氏 (日本イコモス国内委員会顧問) パネリスト 松浦晃一郎氏 (第8代ユネスコ事務局長) 宗田 好史氏 (京都府立大学教授) 小山内信智氏 (政策研究大学院大学教授) 北河大次郎氏 (文化庁文化財調査官)

		
来賓挨拶 (三上砂防部長)	基調講演 (宗田教授)	富山県の報告 (新田知事)
		
パネルディスカッション	パネルディスカッション	パネルディスカッション

- (5) 主催 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会
 (事務局: 富山県地方創生局観光振興室、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室)